

団 体 名	クリアウォーターOSAKA(株)	所 管 局 名	建設局
-------	------------------	---------	-----

市が法人に求める役割

- ・本市下水道事業は事業運営に民間原理を取り込み、さらなる効率性を追求するため、下水道事業の経営形態の見直しを図り、本市が下水道管理者として施設を保有し、事業運営を民間事業者が行う上下分離方式を導入している。
- ・当法人は平成29年度の事業開始時より、市域内下水道施設包括委託業務を受託し、本市の下水道施設を総合的に運転維持管理し、安定した下水道サービスを市民に提供する。
- ・また、自治体における技術職員の不足や民間委託化の拡大に伴い、下水道事業をトータルで行うことができる強みを活かして他都市事業の受託を図るとともに、民間事業者と連携し、海外での下水道事業の調査業務等の実績を踏まえて、新たな事業へ参画するなど、大阪の成長戦略・雇用創出に資する。

対応方針

1. 大阪市内一円下水道施設の包括委託業務の受託

下水道施設の維持管理から運営に至るまでの高い技術・ノウハウを活用し、大阪市の下水道事業の安定的かつ、効率的な事業運営を支える。

2. 中期経営計画の実施

平成29年7月に策定した中期経営計画に沿った経営を実施する。

3. 市域外事業への参画

管渠、下水処理場をトータルシステムとして運転・維持管理するノウハウを持つ当社の強みを活かし、様々な民間企業と連携し、「自治体、民間企業に頼られるパートナー」としての業務受注を目指す。

戦略目標

① 大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理

・不可抗力(停電、施設能力を超過する降雨等)を除くポンプ等の運転不良による浸水回数。

[0回(H29実績)→
0回(H30目標)]

・降雨や悪質下水の流入による影響を除く、運転・維持管理の不具合による放流水質基準の超過回数。

[0回(H29実績)→
0回(H30目標)]

② 中期経営計画の実施

・策定した中期経営計画に沿った、体制の見直し等、効率的な事業運営により利益の確保に努める。

[190百万円(H29実績)→
35百万円(H30目標)]

③ 市域外事業参画に向けた取組み

・自治体への営業活動を行うとともに、メーカー、メンテナンス企業、コンサル等、パートナー企業との良好な関係を構築したうえで、市域外事業に参画する。

[13件(H29実績)→
25件(H30目標)]

【参考:中期経営計画の目標値】

様 式 2

中期経営計画に基づく基本方針(目標設定の考え方)

団 体 名	クリアウォーターOSAKA(株)	所 管 局 名	建設局
-------	------------------	---------	-----

○中期経営計画の概要

中 期 ビ ジ ョ ン (団体が目指す 中期の到達点)	・市域内事業を中心とした経営の効率化 民間の経営手法の導入などにより一層の効率化を行い、事業の持続性確保に資する適切な利益を確保して、安定した経営基盤の構築に努めていく。 ・市域外事業の獲得 大阪市下水道事業の実績・ノウハウを活かし、段階的な市域外事業の確立を目指す。		
中期経営計画名称 (計画期間)	「中期経営計画(H29.6)」 (H29～H33)	公表先URL	https://www.clearwater-osaka.co.jp/wp2/wp-content/uploads/2017/11/2017_medium-term.pdf

○最終年度の到達目標

戦 略	成果測定指標	単 位	最終年度の 到達目標	目標達成のための活動事項
大阪市下水道施設の 適正な運転・維持 管理	ポンプ等運転不良に 起因する浸水回数	回	二	降雨時に所要のポンプ能力が発揮できるよう、日常の点検・維持管理を確実に行う。
	運転・維持管理の不 具合による放流水質 基準の超過回数	回	二	研修・OJT等による運転・維持管理に係る技術力の維持・向上を図るとともに、日常の点検・維持管理を確実に行う。
中期経営計画の実 施	当期純利益	百 万 円	14	民間の経営手法の導入などにより一層の効率化を行う。
市域外事業参画に 向けた取組み	下水道事業をトータルマ ネジメントできる当社の 強みを活かした、自 治体、メーカー等への業 務提案書の提出件数	件	二	平成31年度以降委託業務受注に向け、積極的な営業活動を行い、自治体、メーカー、メンテナンス企業、コンサルタントへ、当社の強みを活かした包括的維持管理、官民連携等に係る案件を具体化した業務提案書の提出を行う。

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理	ポンプ等運転不良に起因する浸水回数	回	0	—	当社の責による浸水を無くし、市民の安全・安心を守る。
	運転・維持管理の不具合による放流水質基準の超過回数	回	0	—	当社の責による放流水質基準超過を無くし、公共用水域の水質を保全する。

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
中期経営計画の実施	当期純利益	百万円	<u>35</u>	<u>10</u>	<u>H29決算見込みを踏まえ、さらなる経営努力を十分反映した数値とした。</u>

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
市域外事業参画に向けた取組み	下水道事業をトータルマネジメントできる当社の強みを活かした、自治体、メーカー等への業務提案書の提出件数	件	<u>25</u>	—	平成31年度以降からの市域外事業受注獲得へとつなげるため、府下市町村やメーカー等へ営業活動を行い、 <u>中期経営計画を達成するために必要な件数を目標値として設定。</u>

団 体 名	クリアウォーターOSAKA(株)	所 管 局 名	建設局
-------	------------------	---------	-----

○中期経営計画の概要

団体経営者の考え (H30の課題と重点目標)	・大阪市下水道事業にかかる事業環境については、近年の使用水量減や施設の老朽化などにより、厳しさを増している。 ・当社は大阪市内一円の下水道施設等維持管理業務を包括受託し、市とともに直面する様々な課題を解決し、大阪市下水道事業の維持・発展を支え、市民の皆様へ下水道サービスを安定的・継続的に提供し続けることを通じ、豊かで快適な水環境を提供し都市の暮らしを支えるという企業の社会的使命を果たす。
---------------------------	--

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理	ポンプ等運転不良に起因する浸水回数	回	—	0	0	30	同じ	降雨時に所要のポンプ能力が発揮できるよう、日常の点検・維持管理を確実にを行う。
	運転・維持管理の不具合による放流水質基準の超過回数	回	—	0	0	30	同じ	研修・OJT等による運転・維持管理に係る技術力の維持・向上を図るとともに、日常の点検・維持管理を確実にを行う。

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
中期経営計画の実施	当期純利益	百万円	—	190	35	20	低い	収入の拡大やコスト削減に努めるなど、利益の確保に努める。

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
市域外事業参画に向けた取組み	下水道事業をトータルマネジメントできる当社の強みを活かした、自治体、メーカー等への業務提案書の提出件数	件	—	13	25	20	高い	平成31年度以降委託業務受注に向け、積極的な営業活動を行い、自治体、メーカー、メンテナンス企業、コンサルタントへ、当社の強みを活かした包括的維持管理、官民連携等に係る案件を具体化した業務提案書の提出を行う。

補足説明資料1

前年度実績より高い目標を設定できない理由について

団 体 名	クリアウォーターOSAKA(株)	所 管 局 名	建設局
-------	------------------	---------	-----

経営目標①

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
1. CS、事業効果	大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理	ポンプ等運転不良に起因する浸水回数	回	—	0	0	30	同じ

前年度実績より高い目標を設定できない理由	前年目標値が最大値を設定しているため。
----------------------	---------------------

団 体 が 考 え る 目標困難度	高い
-------------------------	----

経営目標②

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
1. CS、事業効果	大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理	運転・維持管理の不具合による放流水質基準の超過回数	回	—	0	0	30	同じ

前年度実績より高い目標を設定できない理由	前年目標値が最大値を設定しているため。
----------------------	---------------------

団 体 が 考 え る 目標困難度	高い
-------------------------	----

補足説明資料1

前年度実績より高い目標を設定できない理由について

団 体 名	クリアウォーターOSAKA(株)	所 管 局 名	建設局
-------	------------------	---------	-----

経営目標③

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
2. 財務、効率性	中期経営計画の実施	当期純利益	百万円	—	190	35	20	低い

前年度実績より高い目標を設定できない理由	H30年度においては、 ・市に準じた給与体系変更による支出増 ・H29概算払電力費精算による収入減 ・変動要因の大きな経費は中期経営計画での値としているため が見込まれるため。
----------------------	--

団 体 が 考 え る 目標困難度	高い
-------------------------	----

補足説明資料2

成果測定指標の変更(廃止)理由について

団 体 名	クリアウォーターOSAKA(株)	所 管 局 名	建設局
-------	------------------	---------	-----

経営目標①

変更

平成29年度経営目標

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	ウェイト	変更(廃止)理由
1. CS、事業効果	大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理	運転・維持管理の不具合による放流水質基準(総量規制で定められた汚濁負荷量)の超過回数	回	—	—	0	25	法令(水質汚濁防止法・下水道法など)遵守の観点から、成果測定指標について、「総量規制で定められた汚濁負荷量」との限定を廃し、全水質基準項目に対象を拡大することとした。



平成30年度経営目標

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	削減が定められた汚濁負荷量」との限定を廃し、全水質基準項目を対象を拡大することとした。
1. CS、事業効果	大阪市下水道施設の適正な運転・維持管理	運転・維持管理の不具合による放流水質基準の超過回数	回	—	0	0	30	